

**授業概要**

あらゆる心理臨床的問題は人との関係性（対人関係）の中から（関係によって）発現するといわれる。その意味で臨床心理学と社会心理学は密接な関係にある。本講座では、心理臨床的な問題について、社会心理学で解明されてきた心理過程（自己、対人、集団）を基盤に、理解を深めることを目的にする。

**授業計画**

第1回	自分と自分のイメージ：自己概念
第2回	自分を意識する心：自己注目 抑うつや落ち込み
第3回	好きな自分・嫌いな自分：自己評価と自尊感情
第4回	見せる自分・見せない自分1：自己呈示 社交不安
第5回	見える自分・見せない自分2：自己開示 語りの心理臨床的效果
第6回	その人はなぜそのように行動するのか1：社会的認知
第7回	その人はなぜそのように行動するのか2：原因帰属 成功と失敗 意欲と無気力
第8回	人はなぜ攻撃するのか 怒り いじめ
第9回	ストレスって何？：良いストレスと悪いストレスとは
第10回	ストレスとうまく付き合うために：笑いの効果を中心に
第11回	人と人とのつながり：援助 ソーシャルサポート
第12回	親密な関係と別れ：悲嘆な心理
第13回	集団のもつマイナスの力：同調、服従、社会的逸脱行動
第14回	集団のもつプラスの力：グループ・サポート
第15回	コミュニティと心理的援助
第16回	最終レポート

**到達目標**

- ・日常生活で体験する心理臨床的な問題について考えてみる。
- ・社会心理学の基本的な概念について理解できる。

**履修上の注意**

- ・履修にあたり、とくに注意点はない。授業後に感想を書いてもらうので、授業後に振り返りが求められる。

**予習復習**

- ・とくに予習、復習は必要ないが、授業中の課題が終わらないときには、次の授業までにやってきて欲しい。

**評価方法**

- ・授業への取り組み（毎回の振り返り）：40%
- ・最終レポート：60%

**テキスト**

- ・教科書はとくにないが、毎回資料を配布する。